

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社ナチュラルダンステアトル
公演団体名	ナチュラルダンステアトル

内容
<p>【内容】 ペットボトルダンス・ワークショップ 【対象】 全校生徒 【準備】 ペットボトル(500ml)、1人1本、ペットボトルに水(3分の1)を入れる 【進行】 ①ダンサー実演→②ゲーム・身体ならし→③ダンス実践 【撮影と演技指導】 本公演のフィナーレを飾る映像を撮影します。事前ワークショップで活躍した児童生徒のインタビューの撮影も行います。</p> <p>★ペットボトルダンス・ワークショップは、全国で約5万人の子供たちが経験する優れたダンス・ワークショップです。言葉を越えたダンス・コミュニケーションを学校全体で体験してもらいます!</p> <p>★事前ワークショップで覚えたダンスは本番で披露してもらいます。ワークショップの際にみんなの前で踊った児童・生徒を中心に、公演に出演する約20名の代表児童・生徒を先生との話し合いで決定します。</p> <p>★事業全体を通してダンサーと子供たちとのコミュニケーションを徹底しています。特別支援を必要とする児童・生徒、車椅子でも参加できます。</p>

タイムスケジュール(標準)
9:00 学校到着 ①3時間目 1～2年生、②4時間目 3～4年生、③5時間目 5～6年生 その前後、合間に演技指導と映像撮影 ※生徒数によって実施枠数は異なります。

派遣者数
師1名、補助者5名 スタッフ1名(舞台監督が会場調査・確認、測量のため同行します)

学校における事前指導
【ペットボトルダンスで児童・生徒1人1人に用意してもらうもの】 ◎ペットボトル1本※500ml、タオル、水筒(熱中対策・水分補給用の飲み物) ◎500mlのペットボトルに、分量:3分の1の水を入れてください。 ワークショップの最中に水がこぼれないようにきちんと蓋を閉めること、ペットボトルは投げると危険です。各クラス担任の先生方は教室を出る前に「ペットボトルを投げない」ように、児童・生徒に注意を促してください。

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書

制作団体名	株式会社ナチュラルダンステアトル
公演団体名	ナチュラルダンステアトル

<b>演目</b>
タイトル : 『さーかす』 公演時間 (60分) 構成・演出・振付 : 中村しんじ、振付 : 川野真子 初演 : 2005年 山口情報芸術センター  作品『さーかす』は物語をダンスで表現するエンターテインメント! テーマは、「生きる力」。今の時代を生きる、物語の主人公一郎と、戦後の貧しい時代を生き、昭和のサーカス団との、時空を超えた出会い、心温まる交流、別れまでを描いた物語です。

<b>派遣者数</b>
出演者 : 17名、スタッフ : 16名 計33名

<b>タイムスケジュール (標準)</b>
公演前日 : 放課後 (16時位から) → 機材の搬入と仕込み (約4時間) ※前公演校からの移動・到着次第の仕込開始となります。 公演当日 : 8:00 残作業・ウォームアップ 9:00 出演生徒とのリハーサル (約45分) 11:00 「さーかす」上演 (約60分) 12:00 終演 (給食前) → 撤収・搬出 (2時間半～3時間) 15:00 次の学校へ移動 16:00 次の学校の機材の搬入と仕込み (約4時間) 20:00 設営完了・退校

<b>実施校への協力依頼人員</b>
当事業担当先生 : 仕込み、撤収の立ち合い、その他。 お手すきの先生 : 機材の搬入・客席 (パイプイス等) 設置のお手伝いをお願いします。 鑑賞時 : 各学年から先生各1～2名 : 生徒入場時の整列、着席のお手伝いをお願いします。(先生方の誘導があった方がスムーズです。)

## 演目解説

### (ストーリー)

主人公の一郎は、自分のやりたいことが見つからないで毎日をぐだぐだと過ごしていました。そんな一郎の前に昭和のサーカス団が現れます。戦後、今よりずっと貧しい時代を生きた昭和のサーカス団が、一郎の心に〈生きる力〉を吹き込みます。

一郎が、たくましく成長していく姿に誰もが共感できる内容です。

サーカスの団長、羽の生えたサーカス娘、個性豊かなサーカス団、「みんな違ってみんないい」人間の多様性を大きく包み込む壮大な世界観を学校全体で味わってください!

### ◎舞踊・ダンス公演の鑑賞を支援する5つのきらめきポイント

#### ポイント①▶ダンサー

プロダンサーのダンス・テクニックと豊かな表現力を目の当たりに「体で表現するって素晴らしい!」という実感をしっかりと獲得してもらいます。

#### Point ②▶衣裳・メイク

ダンサーが身に着けている衣裳やメイク、小道具アイテムなど、一人一人全部違います。「みんな違って、みんないい」人間の多様性をも優しく鑑賞指導します。

#### Point ③▶舞台美術(テント)

体育館の天井に届く高さまで空間全部を使って動くテントは子供たちの想像力を掻き立てます。子供たちには驚きを持って舞台芸術の迫力と感動に出会ってもらいます。

#### Point ④▶音楽性

音楽とダンサーの動きがピッタリと合っている凄さと感動はダンスの最大の魅力です!昭和ポップス、サーカス・マーチ、クラシック、現代音楽の幅広い音楽性を楽しんでください。

#### Point ⑤▶物語

物語をダンスで表現するのが作品の大きな特徴です。児童生徒には「言葉を使ってないのに物語がわかる!」自分自身の驚きと発見を通して作品を自分のものにしてもらいます。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ナチュラルダンスシアトルの公演は、とことん体験派!

- 1) 事前ワークショップで覚えたダンスを本公演の舞台上で披露
- 2) 本公演で使用する学校オリジナル映像に出演!
- 3) 作品の中盤に先生が出演 ▶先生と舞台解説の川野真子との掛け合い
- 4) 地域で大切にしている文化を生かした演出
- 5) プロの仕事に触れる・タネ明かし ▶照明家、音響家などプロの技を一部披露します。

## 児童生徒とのふれあい

・ナチュラルダンスシアトルの公演は、特別な訓練を受けたダンサーと子供たちが体を使って人間的なコミュニケーションを展開します。言葉を超越したダンスだけにしかできない新しいドラマを学校全体に再生する取り組みです。

・舞台裏見学(バックヤード体験)では、児童生徒に、テント(装置)の操作やフリータイムでのダンサーとのふれあいを楽しんでもらいます。

・舞台上でのダンサーとの写真撮影会なども実施しています。